

「撓まず、屈せず」の精神 本格復興の推進に

改めて肝に銘じ 全力で



4月に供用開始する新消防庁舎
(鈴子町)



釜石警察署跡地に建設が進む水産物流センター



身近な足確保にオンデマンドバス運行
を継続



4月入居開始予定の箱崎白浜復興公営住宅



上：平成27年2月完成予定の上中島復興
公営住宅のイメージ図
左：同上の地鎮祭を行い建設工事に着工
(3月7日)



犠牲者の鎮魂を祈り、一日も早い復興誓う 東日本大震災犠牲者追悼式を開催

東日本大震災から3年目を迎えた3月11日、犠牲者追悼式が釜石高校体育館で行われました。式には関係者や遺族など約600人が参列し、地震発生時刻の午後2時46分に参列者全員で黙祷を捧げた後、野田市長の式辞、遺族代表：両川吉信さんによる追悼のことば、献唱、献花などが行われ、犠牲となられた方々の冥福を祈るとともに、一日も早い復興の実現を誓いました。

祭壇に献花を行い犠牲者の冥福を祈る
参列者

追悼のことばを述べる
遺族代表：両川吉信さん

省みれば、これまでも市民の皆様からは多くのご支援とご協力を賜りました。この紙面を通じて、改めて皆様に御礼を申し上げます。

新年度は「本格復興」の実施の年として、「撓まず、屈せず」の精神を肝に銘じ、改めて復興加速への決意を持ってまちの再生に鋭意取り組んで参ります。市民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

併せて、被災された方々の気持ちに寄り添いながら、見守り対策や地域包括ケアの推進など、だれもが安心して暮らせるまちづくりに取り組んで参ります。

復興まちづくり基本計画において、平成23年度から同25年度までの「前期」と位置付けた3カ年が本年度で終了し、新年度から「中期」3カ年がスタートします。これまでに、復興公営住宅については上中島、野田、花露辺など237戸が整備されましたが、新年度においては、復興公営住宅をはじめ、土地区画整理事業、宅地造成事業なども、本格的な事業実施に入ります。

あの東日本大震災から3年が経過しました。これまで全力を尽くして復旧・復興に取り組んで参りましたが、未だに多くの方が、仮設住宅等での暮らしを余儀なくされております。被災された方々の期待に十分に答えられず、たいへん申し訳なく思っております。

復興まちづくり基本計画において、平成23年度から同25年度までの「前期」と位置付けた3カ年が本年度で終了し、新年度から「中期」3カ年がスタートします。これまでに、復興公営住宅については上中島、野田、花露辺など237戸が整備されましたが、新年度においては、復興公営住宅をはじめ、土地区画整理事業、宅地造成事業なども、本格的な事業実施に入ります。

決意と感謝

釜石市長 野田武則

市長メッセージ